

Secondary Plus ではどのようなコアスキルを学べますか？

クリティカルシンキング

新しく革新的なアイデアを生み出すために必要な、様々な側面からものごとを捉えて考える力、効果的な決定を下す力、自主的に思考する力を身につけます。

創造性と想像力

新しいアイデアを創造したり追求する力、ものごとを刷新する力や好奇心を育みます。

シチズンシップ

異なる文化を理解し、互いを尊重することで、活動的で国際感覚に長けることを目指します。

コミュニケーションとコラボレーション

グループでタスクに取り組みアイデアを共有したり、周囲の意見を聞いて協力する姿勢を身につけます。

デジタルリテラシー

グローバル化され、いつでも誰かとやりとりが可能となった世界で、知識や情報を見つけて、内容を正しく理解し、伝えるための力をつけます。

リーダーシップと自己啓発

誠実であることと共感力の重要性を意識し、自信と責任感を高め、学ぶことを学びます。

Summer Intensive course for Teens

| Upper Secondary Plus B1 | |
|-------------------------|--|
| コーステーマ | <p>「1000ワード」- インターネット上の、いわゆる「バズる」現象について学び、話し合い、イメージを調べ、ソーシャルメディアに投稿するためのミームを作成します。</p> <p>「あなたがここにいたらよかったのに」- 自分の休暇の経験について話し、都市での短期間の休暇プランを立て、旅行アドバイザーとのロールプレイを演じます。</p> |
| コミュニケーションスキル | 話者交替、推測、限られた情報からの外挿、丁寧さ、対立の解決、電話で使われる表現 |
| 読み書きスキル | メモの書き方、例示、ソーシャルメディアの書き方、予測、正当化、ジャンル分析 |
| その他のスキル | プレゼンテーションスキル、視覚教材、インターネットリサーチスキル、説得力、省察力 |

| Upper Secondary Plus B2 | |
|-------------------------|---|
| コーステーマ | <p>「文化的障壁を取り払う」- 音楽を題材に、それがどのように文化的障壁を打破し、固定観念に挑戦できるか話し合ったうえで音楽祭を計画し、企画書を作成する</p> <p>「連絡をとる」- 現代の様々なコミュニケーション方法について学び、デジタル媒体を使用して有名な物語の代替バージョンを作成します。</p> |
| コミュニケーションスキル | 自己修正する方法、意見を述べる方法、異なる文化背景の人と一緒に作業をする力、交渉方法、口頭による要約 |
| 読み書きスキル | 文脈の理解、語彙を増やす、校正する、メモの書き方、手紙のフォーマット、フォーマル/インフォーマルな書き方 |
| その他のスキル | ブレインストーミング、情報の調査、形式的な書き方の規則、省察、要約、トランスコーディング |

| Upper Secondary Plus C1 | |
|-------------------------|--|
| コーステーマ | <p>「昔々」 ストーリーテリングの歴史について学び、何が良いストーリーを作る鍵となるのか話したうえで、オリジナルの短いストーリーを書いて演じます。</p> <p>「より良い都市、より良い生活」 世界中で都市がどのように変化しているかを調べ、再開発したいあなたの街の地域を選択し、開発計画を立てます。</p> |
| コミュニケーションスキル | 話者交代、言い換え、物語を声に出して読む、リスニング力、プレゼンテーション力、議論、ディスカッションをリードする |
| 読み書きスキル | 首尾一貫した文章の作成、トピックの移行、辞書の効果的な使い方、フォーマルレターや提案書の執筆、正確さ、自己修正する力 |
| その他のスキル | 共同作業、計画、プレゼンテーション、大規模グループでの議論 |

Secondary Plus FAQs

Q: 教科書はありますか？

教科書ではなく、雑誌形式の教材とワークシートをお渡しします。1冊の教材は Secondary Plus コースの 1 モジュールに対応しています。1 週間 5 回のレッスンで雑誌形式の教材 1 冊、つまり1モジュールを終了します。雑誌形式の教材を用いることで、退屈せずにレッスンにご参加いただくことを目指しています。

Q: 閲覧できるシラバス(コース概要)はありますか？

各モジュールでどの英語スキルを学ぶのかを記載したコース概要をお渡しいたします。しかしながら、より皆さまのニーズに応えるため、適宜講師が指導内容を変更する場合がございます。

Q: 授業内ではどのようにコアスキルを学びますか？

自然とコアスキルを身につけることができるような教材、プロジェクトをご用意しています。例えば、語学学習のためのアプリを皆さんに考えていただき、それについてプレゼンテーションをする、というような課題を通して、英語力はもちろんのこと、リーダーシップや自信、独創性、創造性やクリティカル・シンキング、問題解決の力を付けることを目指します。

Q: 授業内でボキャブラリーや文法は学べますか？

英語の運用能力向上のために、ボキャブラリーの幅を増やしたり、文法の学習は欠かせません。コースの中で与えられるプロジェクトを通して、自然にこれらの力を付けることができるようなシラバスをご用意しています。

Q: Secondary Plus にはどのようなレベルがありますか？

コースは、外国語環境のなかでどのくらい外国語を使いこなせるかを基準に設定された CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠/Common European Framework of Reference for Languages)に基づいて作成されています。レベルは B1(中級)から C1(上級)までをご用意しています。

Q: 英語学習の評価はどのように行われますか？

講師は常に受講生の学習状況を把握し、各モジュールをとおしてレッスン内に、受講生自身の学習内容を確認する自己評価の機会をご用意しています。また、英語学習の進捗状況、出席状況、授業内での様子や英語力を評価したレポートをコース最終日にお渡しします。

Q. Secondary Plus にはどのような利点がありますか？

| 特徴 | 利点 |
|--------------------------|--|
| 雑誌形式の教材 | 各モジュールは受講生の生活に身近な、親しみやすくやる気の出るトピックスからテーマを設定しています。こういった教材を用いることで常に新しいレッスン内容をご提供することができます。 |
| モジュール化されたプロジェクトベースのアプローチ | モジュール毎に、日常生活に則したプロジェクトが用意されています。プロジェクトの完了を目指すなかで、必要となる英語力やコミュニケーションスキルの力を付けてゆきます。授業内で行われるアクティビティやオンラインでの作業には明瞭な目的が設けられています。 |
| コアスキル | コアスキルは将来成功するため無くてはならないスキルです。大学生や社会人になったときに求められるコアスキルを早いうちから身につけることができます。 |
| 正しい学習方法を学ぶ | 昨今、子どもたちが学ぶべきこと、取り組むべきことは、急速に変化しています。今重要とされていることが近い将来重要でなくなるかもしれません。世界が発展してゆくに伴って学ぶべきことは変化するのだと理解することが将来的な成功の鍵となります。レッスン内では皆さんに学ぶことを学ぶ力を身につけていただきます。 |
| アカデミックスキル | 大学・その他の教育機関で必要とされる英語力を養います。 |
| 明瞭なスキルの提示 | 与えられたタスクを通して何のスキルが身につくのかを理解していただいたうえで課題に取り組んでいただきます。 |
| 学習した内容の確認と自己評価 | 英語学習の進捗状況について、講師からの評価だけでなく自己評価の機会を設けることで、より英語学習を効果的に行うことができます。 |
| 海外留学の準備 | レッスンは、オールイングリッシュで行われます。アクティブ・ラーニング形式のレッスンを体験することで「自分の意見を述べる」や「ディスカッションに参加する」など、留学に必要なスキルが明確になり、今後の準備に役立ちます。 |